



こうして私は蔵を継ぐ

花開時味来
 樽来時味来
 茶根元延壽
 清風味亦楽

企画内容

何百年と続く蔵元の後継者に生まれた私達。

実家の蔵を継ぐというのは本当に嫌だった。小さい頃から親戚のおじさんや叔母さんには、将来の夢をいうと・・・「お前は実家を継ぐんだ」ということを何度となく言われた。

だから、私たちは家業を継ぐことが嫌だった。

そんな僕たちが継ぐことを決意した。

嫌悪感から自分の実家を誇りに思えるようになったきっかけ。または出来事などをエッセイ風に描写していきます。そんな私たちの 100 年の重みと 20 年足らずの人生話を「堪能あれ！」

企画者

蔵元の後継者（大学生）で構成される団体蔵人の会

1 蔵人の会 初代代表 大竹令馬

実家は味噌、醤油蔵で創業約百年の 4 代目（直系）東海地方特有の豆味噌や溜り醤油などを製造しており「ヒルナンデス」「NHK 総合」などのメディア出演経験の他、最近ではラジオにも出演

2 共同副代表 鈴木昂徳

実家は味噌屋で創立メンバー。実家は創業約 150 年の有名な味噌屋で東京農大では絶大な人気を誇っているほか、その人気さゆえに漫画にも登場。

3 共同副代表 横山龍太郎

長崎県の老岐の島の焼酎の蔵元。創業約 100 年で焼酎の他にも近年日本酒にも力を入れている。ちなみに子供の頃の将来の夢は美容師！

4 石井美紀

茨城県の蔵元の長女。家系に男子が生まれなかったため長女である彼女が蔵を継ぐことが幼少期から決まっていた。実家の名前「家久長」を背負い、女性蔵人としての一步を踏み出す。

5 内田圭哉

実家がワイナリーを営む 3 代目。創業は約 70 年のワイナリーを継ぐべく現在奮闘中。実家のワインは超有名なワイナリーで東京の酒屋さんやお店に行くと目にするかも？

構成案

- はじめに
 - 第一章「先人と仲間に背中を押されて… 6代目としての思い」
 - 第二章「味噌屋になる!? 変わりゆく実家を受け継ぐ」
 - 第三章「小さな島の小さな酒蔵 守りたいものがある」
 - 第四章「女蔵人が紡ぐ新しい日本酒 『女だてらに』なんて言わせない！」
 - 第五章「成功者の父を超える！」
- 番外編「蔵人を支え続けてきた人々」



読んでほしい人

- ・後継者の方とその親御さん。
 - ・お酒好き
 - ・食品に興味のある方
 - ・後継者という嫌悪感や苦悩の背景を中心に描きながらも知られざる蔵の秘密や蔵元話も掲載し、誰もが楽しくてクスッと笑えるようなエッセイ風に仕上げた僕たちの実際にあった物語です。
- 後継者という立場で悩んでいる方には是非読んでいただきたいです。

見本原稿

味噌・醤油屋の6代目の長男として生まれた私は、小学校から高校生まで実家を継ぐことに嫌悪感を抱いていた。そんな自分が一家の大黒柱であった曾祖母の死、大学の寮での蔵元の友人との同居などを通して実家を継ぐことを、深く考えた場面。

親父は家を継ぐことに関しては、強制はしなかった。むしろ「自分の好きなようにやれ」といわれ最後に一言。

「ただし。30代までに決めてくれ。銀行との取引があるから・・・」だけ言った。むしろ家を継いで欲しかったのは、曾祖母や祖父だった気がする。

そして、同時にプレッシャーを感じていた。いくら「好きにしろ」といわれても何代も続いてきた家を継がないというのはどうなのかと思っていた。

そんな自分が家を継ごうと思った。

こう思えたのは同じ経験・同じ産業・同じ年齢の仲間がいたことだった。大学の寮で酒蔵の後継者と暮らし、バイト先で自分と同じ味噌屋の息子と知り合った。さらに新たな蔵元の友達ができた。大切なのは同じ価値観・同じ境遇・同じ年齢を持ったメンバーがいることだった。今までの小学校・中学校では蔵元出身というのは自分一人だけ。一人の後継者という問題に立ち向かっていた。しかしながら同じ蔵元後継者が集う、大学に籍を置いたことにより、自分の境遇を共有してくれる友人がいた。

今まで嫌いだった蔵の話も共通の話題としてとても盛り上がった。不思議なのはどんなに嫌いだった話でも、この時だけはとても楽しいのだ。これは自分達だけが共通の話題を共有できたからかもしれない。しかもそれは一般の人には理解できない私たちだけの話題だからだ。例えば各蔵元に欠かせない製麹（麹作りの工程）の話。製麹中は麹菌の匂いが蔵中を漂うため、実家に友達を連れてくると必ず友達からは「臭い！」といわれる。でも自分たちはそんなに嫌いな匂いではないのだ。だからこそ、当時はずらい思いが少々あったが、今となつては共通の笑い話だ。いつの間にか実家を継ぐことの嫌悪感は薄れていた。

【ちよつち蔵話】

- ・味噌屋・醤油屋では、先祖代々死因が高血圧。
- ・どの蔵元も仕込み作業が始まると、納豆は絶対禁止（でも大好き）